

「書誌から見たワイルド受容研究 早すぎた翻訳『社会主義下の人間の魂』」（第1回比較文化史研究発表会、平成17年5月）

明治24年5月28日に紹介された増田藤之助「美術の個人主義——ラスカル・ワイルドの論文抄訳」（『自由』）に注目し、日本における「社会主義下の人間の魂」受容史について発表した。発表の論旨として、「増田藤之助の生涯」「自由民権運動」「社会主義運動」とのかかわりを考慮し、明治24年という年代に注目した。政治的にも難しい時代であったことを考慮しながらも、増田が新聞記者から教育者への過渡期でもあり、このあたりの今後の考察が必要と結論付けた。